

KYOTOGRAPHY 2025 ✕ グラシエラ・イトウルビデ

京都市美術館 別館 会場マニュアル

《 internal 》

展示概要

グラシエラ・イトウルビデ at 京都市美術館 別館

メキシコを代表する写真家グラシエラ・イトウルビデによる、日本初の回顧展。

彼女の作品にはサポテカ¹の女性やムシエ²たちが伝統や祭りを守る姿、空を舞う鳥の群れ、乾いた大地に根付く植物などが登場し、メキシコの精神性や象徴的なイメージが詩的に表現されている。

生命と死、過去と現在、自然と人間の間係を見つめる彼女のまなざしは、私たちに深い気づきと新たな発見をもたらしてくれる。

サポテカ: メキシコの南部に居住する先住民。山から海までさまざまな地帯でそれぞれの生活様式を持っていて、町や地方ごとに独自性が強い。コミュニティの中にはそれぞれの方言と生活習慣がある。

ムシエ: サポテカ語で「女性の心を持った男性」を意味していて、メキシコの南部で古くから暮らしている第三の性の人々を指す。対象となっている人たちは選ばれた人であり、幸運の象徴とされている。

会場はDiorによってスポンサーされており、左上の写真は2023年にVOGUE MEXICOのために撮影されたもの。



会期: 2025年4月12日~2025年5月11日 ※ 4月14日 / 4月21日は休館
運営時間: 10:00 - 17:30 ※ 17:00最終入場
入場料: 大人1,500円 / 学生1,200円
VIPプレビュー: 4月11日(金) ※ DiorのVIPが4月15,16日に総来場
イベント: 4月12日(土) 13:00 - ツアー / サイン会

展示概要

展示作家について

アーティスト: グラシエラ・イトウルビデ (Graciela Iturbide)

1942年にメキシコ・シティ生まれ。映画監督を目指してメキシコ国立自治大学の映画研究センターに入学。メキシカン・モダニズムの巨匠であり写真家の[ヌエル・アルバレス・ブラ](#)[バ](#)に師事し、写真に転向。メキシコやラテンアメリカへ旅をする中で、先住民族のコミュニティに注目し始める。故郷メキシコの地域社会を撮影したモノクロ写真で評価されるようになり、1979年に出版した写真集『[Juchitán de las Mujeres](#)』は、彼女の生涯にわたるフェミニズム支援のきっかけとなった。

【主な個展歴】

カルティエ財団現代美術館(フランス・2022) / ボストン美術館(米国・2019年)
タカ・イシイギャラリー(日本・2016) / テート・モダン(英国・2013)
フリーダ・カーロ美術館(メキシコ・2012年) / メキシコ近代美術館(メキシコ・2011)
ヴィンタートウル写真美術館(スイス・2009) / アメリカス・ソサエティ(米国・2008)
J・ポール・ゲティ美術館ヴィンタートウル写真美術館(米国・2007) / リオデジャネイロ近代美術館(ブラジル・1993)
サンフランシスコ近代美術館(米国・1990) / ポンピドゥー・センター(フランス・1982)

【主な受賞歴】

インフィニティ賞コーネル・キャパ生涯功績部門(2015) / ルーシー賞(2010)
メキシコ市芸術科学国家賞(2009) / ハッセルブラッド国際写真賞(2008年)
レガシー賞(2007) / ヒューゴ・エアフルト賞(1989)
グッゲンハイム・フェローシップ(1988)



展示概要

展示構成について

KYOTO
GRAPHIE
international
photography festival

KYOTO
PHONIE
international
photography festival

キュレーター: エレナ・ナバロ ([Elena Navarro](#))

メキシコシティとマドリードを拠点に写真キュレーター、プロデューサー、コンサルタント、そしてマネージャーとして活動。国際写真フェスティバル「FOTOMÉXICO」の創設者兼芸術監督。

2020年にラテンアメリカの人々の日常生活に現代写真をより浸透させることを目的とした、非営利団体「Espacio V」を設立。この10年間は、メキシコおよびラテンアメリカの女性アーティストやクリエイターの作品がヨーロッパ、アメリカ、さらには世界で広く認知されるよう取り組んでいる。

2022年にはニューヨークで開催されたMagnum Photos 75周年記念プロジェクトの文化ディレクターを担当。現在はParis Photo のラテンアメリカおよびスペインのアンバサダーを務めており2024年には同フェアの新セクター Voicesのゲストキュレーターとして招かれた。



セノグラファー (会場構成): マウリシオ・ロチャ・イトウルビデ ([Mauricio Rocha Iturbide](#))

1991年にメキシコシティを拠点とする建築事務所「Taller de Arquitectura | Mauricio Rocha」を設立。小規模なプロジェクトから大規模な公共空間まで幅広いスケールで設計を手がけ土地の背景と環境に深く配慮した現代建築の創造に取り組む。

国内外の建築ビエンナーレで数々の賞を獲得し、近年はニューヨーク建築リーグの「Emerging Voices Award」やフランス建築アカデミーの「Médaille d'Or Palmarès」(2019)などを受賞。

2023年には「Mies Crown Hall Americas Prize (MCHAP)」を受賞し、アメリカ大陸における優れた建築作品として評価された。

展示概要

展示会場について

京都市美術館 別館

平安神宮や京都国立近代美術館などを擁する京都市左京区・岡崎公園内に位置する、関西を代表する公立美術館として知られる。1930年に京都市公会堂として建てられ、1960年からは京都会館の別館として用いられてきたその後 2000年に建物の和風な外観を守りながら内部を全面改修し、京都市美術館別館としてオープンしました。洋風建築に和風の屋根をかぶせた、和洋折衷のいわゆる「帝冠様式」を代表する建築のひとつ。

住所

京都市左京区岡崎最勝寺町3

バス

市バス「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ

市バス「岡崎公園美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分

電車

地下鉄「東山」駅下車、徒歩約10分

車

本館北側の専用駐車場(京都市勧業館みやこめっせ駐車場有料)が利用可能
(一般車:19台 / 優先車:2台 / 有料・予約不可)。

火一金 最初の60分 500円、以後30分 200円、当日最大1,500円

土日祝 最初の60分 500円、以後30分 200円、最大料金なし

自転車・バイク

本館または別館の駐輪場・バイク置き場をご利用ください(無料)。



展示概要

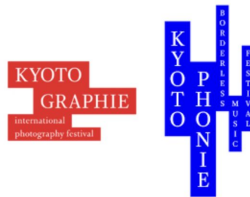
チケットについて



パスポートチケット

チケット名称	券種	一般 (前売)	学生	京都市民 割	団体割 引	POINT
パスポート チケット	E-チ ケット	¥6,000 (¥5,500)	¥3,000	—	—	・ 全会場に1回ずつ入場可能
	紙チ ケット			¥5,500	¥5,400	
ミニパス ポート	E-チ ケット	¥ 2,000	¥1,800	—	—	・ JR(京都新聞)会場と他1つの 有料会場に入場可能
	紙チ ケット			—	—	
平日限定パ スポート	E-チ ケット	¥4,500	—	—	—	・ 平日、全会場に1回ずつ入場 可能
エクスプレ ス パスポート	紙チ ケット	¥15,000	—	—	—	・ 全会場に何度でも入場可能 ・ 列に並ばずにすぐに入場可能

展示概要



こんなことを聞かれたら？ 日本語 ver

・チケットはいくらですか？

→大人は1,500円 / 学生は1,200円です。

・支払いはなにがありますか？

→現金・カード・QRコード決済が使えます。交通系は使えません。

・会場ってどんな感じですか？

→日本の伝統技術でもある「左官」を用いた空間に、メキシコの歴史ある地域社会を撮る世界的な女性写真家が日本で初めての回墾展をやってます。

・作家はどんな人ですか？

→1960年代のメキシコやラテンアメリカに存在する先住民族やジェンダー文化を撮り続けて世界的な評価を受けている「ガラシエラ」という女性写真家です。

・ゴミは受け取れますか？トイレだけ借りてもいいですか？

→ゴミは受け取れません。トイレは近くの京都ロームシアターに行ってください。

展示概要



こんなことを聞かれたら？ 英語 ver

・How much is the ticket? (How much ～ は値段を聞いています。)

→ For Adult 1,500 yen. For student 1,200 yen.

(フォーアダルト(スチューデント)イズディス.[電卓見せるなど])

・What kind of payment we can use ? (payment は支払いのことです。)

→Cash, card, or digital code. No transportation IC card.

(キャッシュ、カード、オアデジタルコード。ノートランスポーターションアイシーカード)。

・How's the exhibition like? (exhibitionは展示会場のことです。)

→Traditional technique in Japan and traditional mexican women's photo.

(コレボレーションウィズトラディショナルテクニクスインジャパン、
トラディショナルメキシカンウーマンズフォト)。

・Who is the artist? (artistは作家のことです。)

→It's Graciela Iturbide. Mexican women artist.

(グラシエラ・イトウルビデ。メキシカンウーマンアーティスト)

・Could you take this ? Could we use only toilet? (ゴミを渡された時/ toilet もしくは restroom / bathroom はお手洗いのことを指します)

→We can't take trash. Do you have ticket ?? If no, you can use toilet at Kyoto loam theater.

(ウィーキャントテイクトラッシュ。ドゥーユーハブチケット？ イフノー、ユーキャンユーズトイレアット京都ロームシアター)。

展示概要

会場の設備について



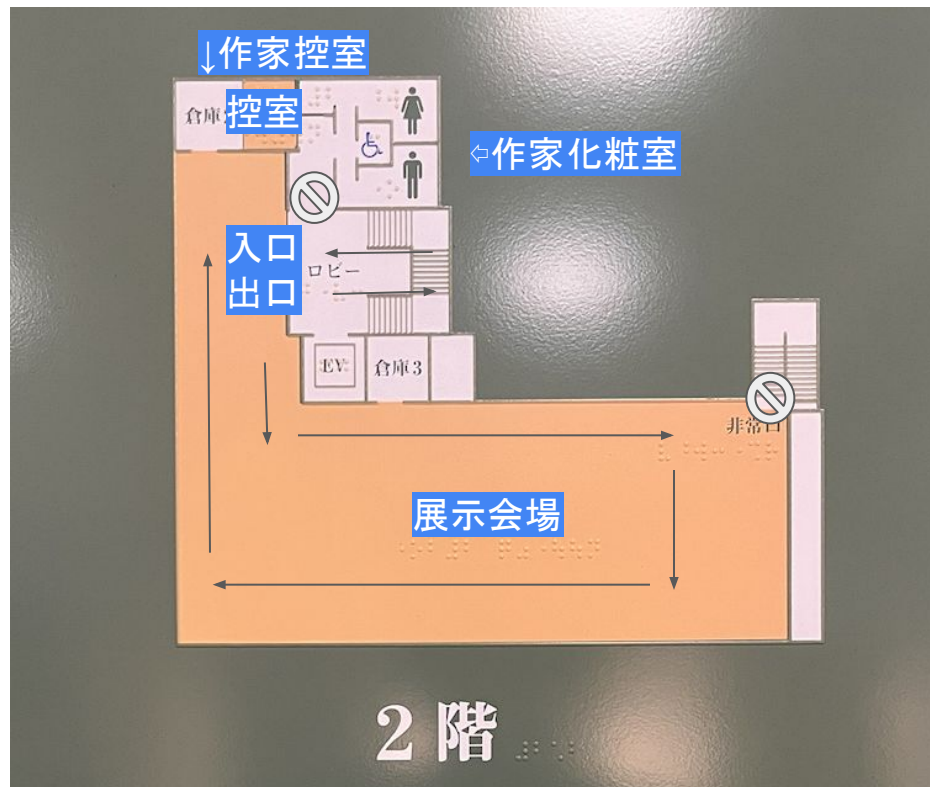
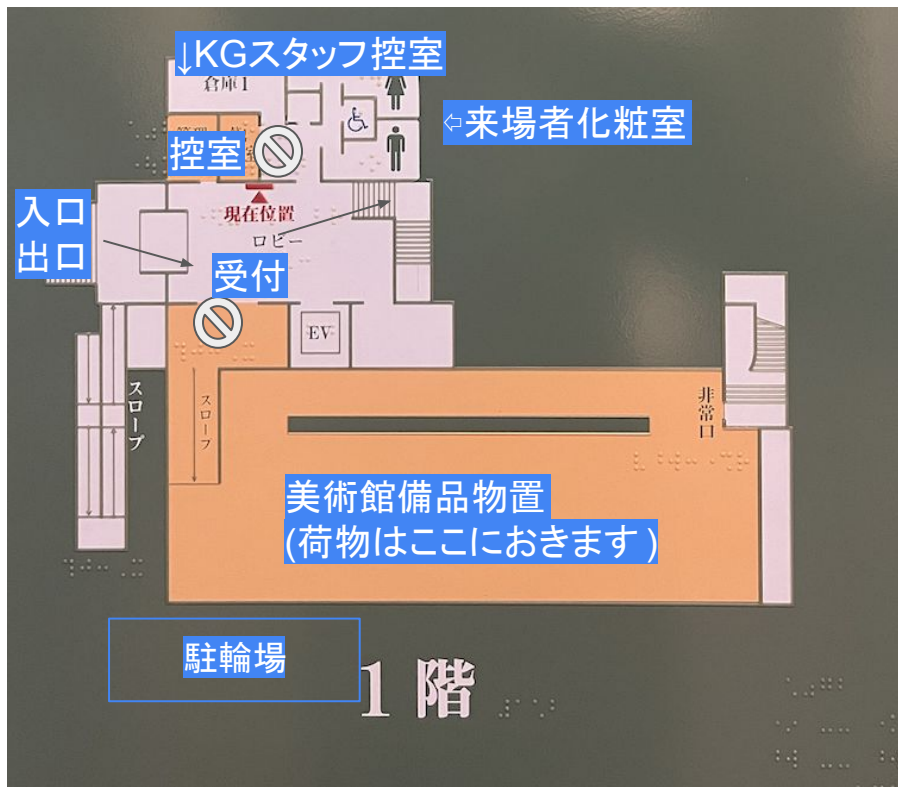
→関係者以外立入禁止



→来場者の動線

KYOTO
GRAPHIE
international
photography festival

KYOTO
PHONIE
international
photography festival



展示概要

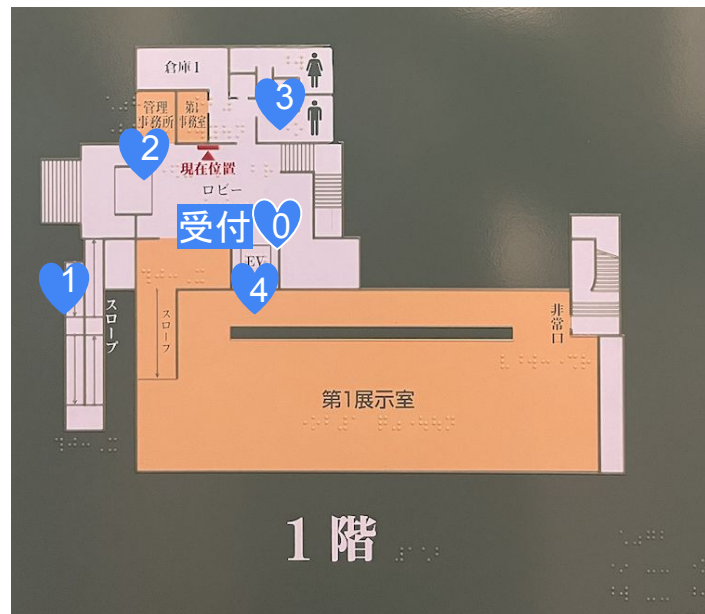
会場バリアフリーの設備について



筆談ボードの用意

KYOTO
GRAPHIE
international
photographic festival

KYOTO
PHONIE
international
photographic festival



1 階



2 階

1 介助が必要な方 / 車椅子が必要な方
→ 入口に立つSSが対応

2 車椅子は管理事務室の横にあります

3 多目的トイレ1階にあります (おむつ替えもできる)

4 5 エレベーターあります (バリアフリー向け)

展示概要

会場内での徹底事項

荷物について

- ・大きな荷物(スーツケースなど)
→受付で番号札と引き換えて預かる
- ・リュックサックやA4サイズ～のカバン
→前に抱えるよう指示。
- ・飲み物を持っている来場者 (ペットボトル)
→カバンにしまうよう指示。
- ・食事をしている来場者 (ガムや飴などを含む)
→原則不可。お断りする。
- ・飲み物を持っている来場者 (スタバ系・缶・びん)
→原則不可。お断りする。
- ・ゴミを受け取って欲しい来場者
→原則不可。お断りする。
- ・喫煙をしたい来場者 → [要確認](#)
- ・模写・メモをとっている来場者
→鉛筆のみ可。それ以外のかたは鉛筆をお渡しする。
- ・ベビーカー
→入場可能。エレベーターに案内。
※傘は傘立てがあります

撮影について

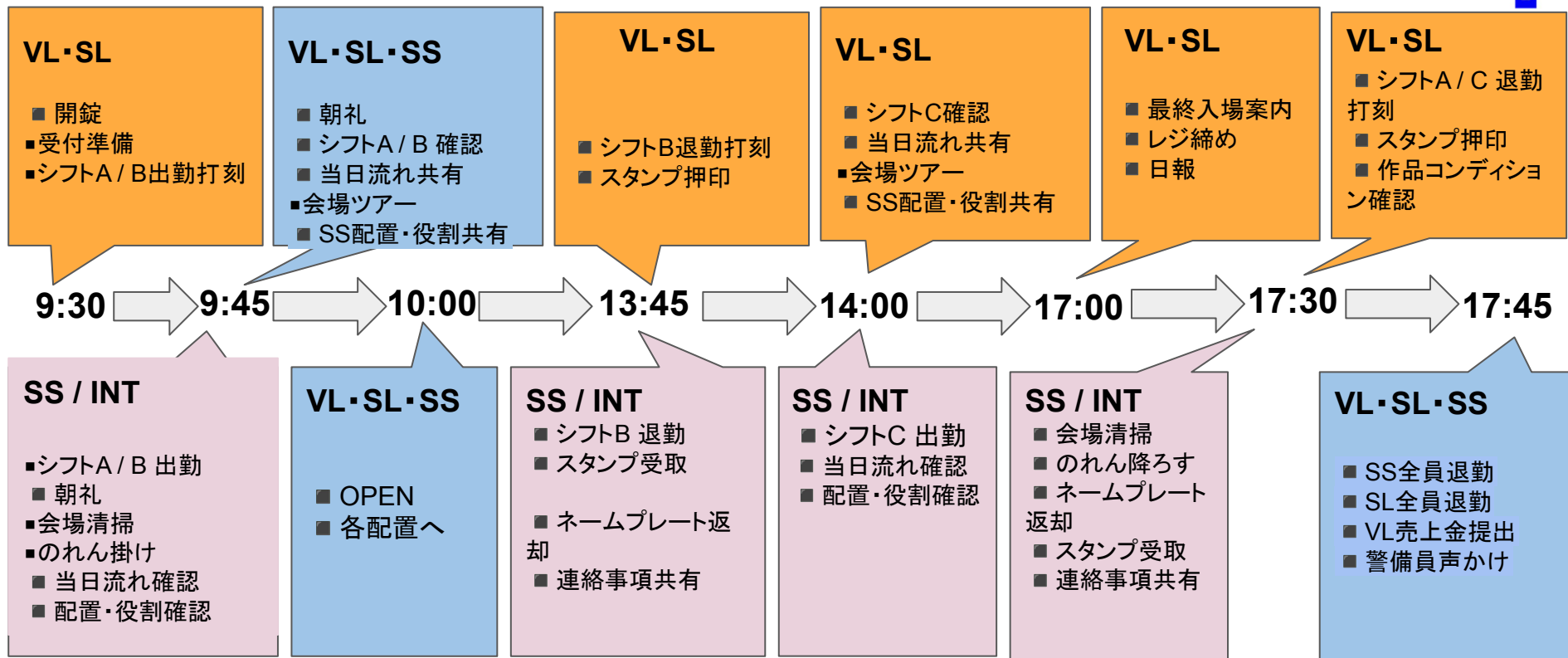
- ・写真を撮っている来場者
→OK
 - ・動画を撮っている来場者
→ [要確認](#)
 - ・フラッシュを焚いている来場者
→NG 声をかけてフラッシュを焚かないように指示。
 - ・他の来場者を妨げるような超越した撮影をしている来場者
→NG 声をかけてやめるように指示。
- 例) 自撮りしすぎて動線が詰まる/ 被写体とカメラマンで撮影会をしている/ 営利目的による撮影に見えると運営が判断したとき
- ※ブログ・SNSなどにおける使用は撮影者本人の責任となります。
※撮影における来場者同士でのトラブルに運営側は責任を負いません。

その他

- ・喫煙所は入り口を出て右側を北に進むと左手にあると案内

KYOTOGRAPHY作業内容

1日の流れ (集合場所:京都市美術館別館 入口)

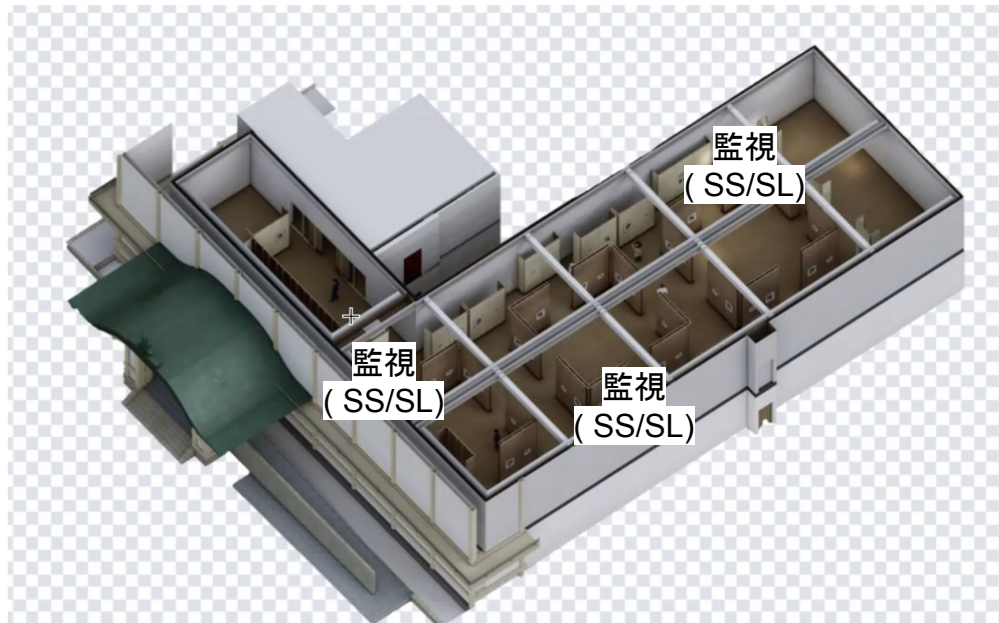


KYOTOGRAPHY作業内容

KGスタッフポジション



1階



2階

KYOTOGRAPHY作業内容

ポジションごとの作業内容

入口対応

主に、美術館入口に立ちながら京都市美術館別館に
来場してくださるお客様に必要なサポートをしてもらいます。

・バリアフリー対象のお客様の誘導

→サポートがいる方の対応・他スタッフへの共有

・KYOTOGRAPHYの会場としてのお客様の誘導

→場所がはっきりとわかっていない人々への声かけ

・KYOTOGRAPHYに関する質疑応答対応

→会場・料金・作家について教えてあげる

・入口にかかっている暖簾の監視

→暖簾が落ちる危険がないか確認・共有

・列の整備

→チケットの用意や支払い方法など受付をスムーズに準備

・荷物・傘

→大きな荷物やリュックを持つ人・傘ある人などの声かけ



大きな暖簾がかかります

天気に合わせて暖かい格好で
お越しください

KYOTOGRAPHY作業内容

4月11, 12, 15, 16 日出勤の方へ

VIP・PRESS対応

4月11日(金) 11:45 - 19:00 ※SS・SLは17:45 完全退勤

11:45 ~ 12:30 : プレス (

14:30 ~ 15:15 :VIP (

16:00 ~ 17:00 : スポンサー・Dior (50人程度)

18:10 ~ 19:00 : 京都市美術館員 (50人程度)

アーティストツアー / ブックサイン会

4月12日(土) 13:00 - 14:30

アーティスト・セノグラファー・キュレーター・通訳

で申込対象者への会場ツアーの後、本を購入してくれた方へのサイン会を受付横で行ないます。

Dior VIP 来場デー ※一般開場時間に来場

4月15日、16日(火、水) 10:00 - 17:00

Dior の VIPパスを持った人が対象です。

全部で500 - 600人ほどいる予定です。

VIPパスは上記の2日間だけ有効です。



Dior VIP パス

※通常のVIPパスと変わらない



VIP/PRESS パス

KYOTOGRAPHY作業内容



ポジションごとの作業内容

作品監視

主に、作品の保護と来場者の安全のために展示会場で監視をしながらサポートをしてもらいます。

・作品の保護

→作品に触れる/ぶつかる危険がある人への声掛け・監視

・来場者の安全を守る

→動線が詰まったり暗くて転ばないように来場者を誘導

・混乱防止

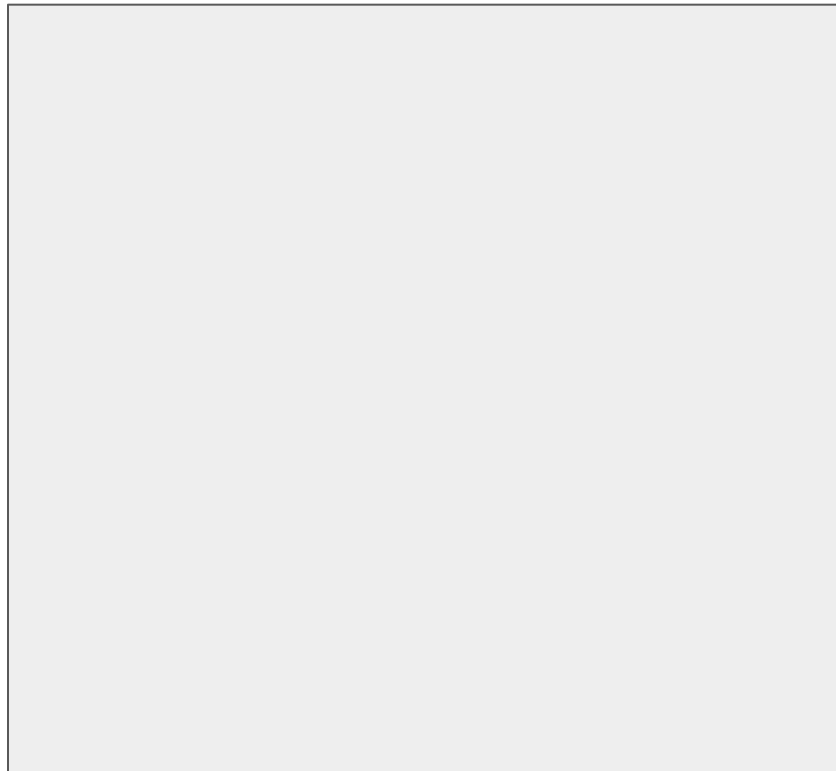
→人が多すぎたりしないよう様子見しながらVLに連絡・調整

・来場者の荷物ケア

→鞆が大きい人/シャープペンシルを使用している人への対応

・写真/動画の撮影

→他の来場者の妨げになっている場合の声かけ・監視



KYOTOGRAPHY作業内容

ポジションごとの作業内容

受付

主に、チケットもぎりと作品集 / 単館券など支払いが発生するお金周りに関するサポートをしてもらいます。

・チケットもぎり

→ 来場者が提示するチケットのもぎりと入場案内

・単館チケット / 作品集の購入対応

→ 割引や種類に合わせて計算をしてお会計までの対応

・レジ締め

→ その日の会計処理と金庫処理をして本部へ提出

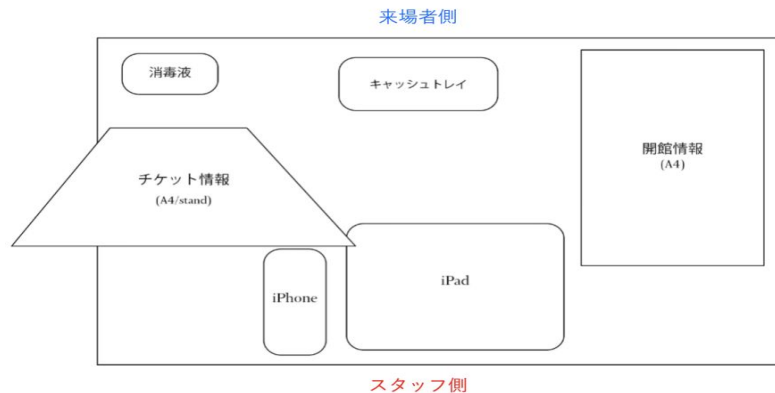
・日報

→ その日の会場やKGスタッフの様子について報告

・入場者数

→ その日の全体入場者数をカウンターで把握・VLに共有

〈受付カウンター配置例・俯瞰図〉



受付に置く備品

- ・iPad(レジ用)
- ・iPhone(チケットスキャン用)
- ・Wi-Fi(業務用。京都市美はとても電波が悪いので私用不可。)
- ・金庫
- ・スタンプ(SS Point Card用)
- ・決済スクエア
- ・案内情報ラミネート
- ・文具
- ・マニュアル

KYOTOGRAPHY作業内容

KGスタッフへの共有事項

・休憩時間

→VLがその日のシフトごとに決めた時間で休憩をとってください。

(6~8h:60min) (4h~6h:15min) (8h~more:75min)

・報告・連絡・相談

→些細なことでも違和感のあった事柄があれば報告してください。

→いつ・どこで・どんなことが起きてるか連絡を取り合いましょう。

→聞か迷ったときはまず VLに聞いてください。

・来場者からの質問

→わからない時は「わからない」と答えて大丈夫です。受付に誘導。

・飲食

→控え室のみでお願いします。生ゴミは各自持ち帰ってください。

・貴重品

→控え室にて自己管理でお願いします。紛失などの責任は負いません。

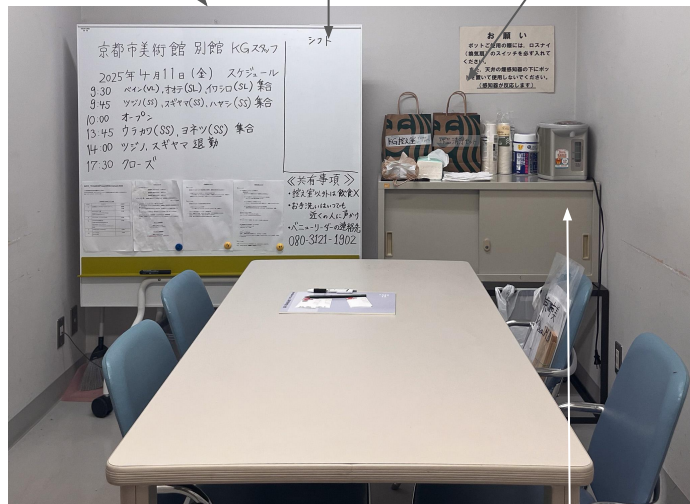
・KYOTOGRAPHYスタッフであること

→来場者さんは私たちを”KGの人”として接します。優しさと敬意を忘れずに！)

その日のスケジュールを
明記してます

シフトを提示してます

作品掃除



飲食は控え室で
お願いします